

## 東三河支部設立総会開催の報告

9月27日、豊橋商工会議所において(社)愛知県産業廃棄物協会東三河支部設立総会が行われました。当協会の平成6年度事業計画において設置が決定している県下6支部のうち、先陣を切って早々とスタートした東三河支部。総会には支部会員32名、近藤愛産協副会長及び安井専務理事、稲垣事務局長が出席し、厳粛に支部の船出を祝いました。

(有)ビソー環境 金海氏の司会により進められた総会は、近藤愛産協副会長の祝辞の後、(株)明輝クリーナー 小島氏を議長に選出。議案の審議に入る前に安井専務理事より支部規程の説明が行われ、議案の審議に入りました。議事は次の通りです。  
第1号議案 支部運営要領(案)承認に関する件  
第2号議案 平成6年度事業計画(案)承認に関する件  
第3号議案 役員選任に関する件

各議案ともに満場一致で原案通り可決されました。なお、支部長には加山興業(株)の加山昌弘氏を選任。副支部長には三石産業(有)の石川直宏氏、成和环境(株)の大塚港氏の2名が選ばれました。加山東三河支部長は、就任挨拶において「支部会員の一人一人が法律を遵守し、不適正処理を許さない断固たる意志を持って、東三河地域の住民の皆さんとともに歩いていく組織をつくっていききたい」という潔い決意の表明がされました。

設立総会は支部長挨拶をもって式次第をすべて終え、続いて4時30分より豊橋保健所環境保全課の神谷課長による「東三河地域における産業廃棄物の現状と問題点」と題した記念講演が行われました。この中で支部活動について、地域社会の発展と環境保全に尽力するボランティア精神にのっとり、支部を運営していただきたい。支部会員の資質の向上を図りつつ、東三河の産業廃棄物の適正処理を行ってほしい等の要望を含めたお話をいただきました。

有益な講演の後には、場所を移しての懇親会が行われました。支部設立総会及び講演会の熱気をそのまま会場に持ち込んだパーティーは東三河支部の未来を祝して大いに盛り上がり、盛況のうちに支部設立総会は終了しました。



■(社)愛知県産業廃棄物協会東三河支部  
平成6年度事業計画

### 1. 組織強化拡充事業

(1) 協会からの協力依頼、情報伝達の徹底  
協会事業の円滑な推進を支援するため協会において決定された事項の実施及び支部会員への周知徹底を図る。

### (2) 会員加入促進

会員数の拡大は、業界の社会的地位の向上と堅実な発展を図るため最も重要であるため、支部の未加入処理業者、排出業者等に対し、積極的に加入促進を図る。

### 2. 研修事業

#### (1) 各種研修会の開催

法令の周知、処理技術の普及啓発、労働安全の意識向上等を図ることにより産業廃棄物の適正処理に関する知識を深め、資質の向上に努めるための各種研修会を開催する。

### 3. 会員相互交流事業

#### (1) 情報交換・懇親会の開催

会員相互の情報交換を始め、親睦・交流を図るための事業の開催。

### 4. 普及啓発事業

#### (1) 産業廃棄物不適正処理防止活動

不法投棄パトロール、巡回指導の実施。

#### (2) 各行政との情報交換、協力

各行政と綿密な連携をとり、情報交換を始め行政が実施する各種施策に積極的に協力する。

#### (3) 各種団体との協賛事業の実施。